

伊豆シャボテンリゾート

2025年3月期

中間期決算説明資料

各事業説明（事業の伸長）

【レジャー事業】

- レジャー事業の業績は昨年度を上回りました。同事業の中核である、伊豆シャボテン動物公園において、海外からの観光客の獲得（増加）に成功したことが主要因です。

【アニタッチ事業】

- アニタッチ事業の開始から計画的に出店拡大を継続中であり、24年4月に「アニタッチPARK イオンモール太田」、同年7月に「アニタッチ東京ドームシティ」の出店で、同事業の店舗数が6店舗となり、業績は昨年度を大幅に上回る結果となりました。

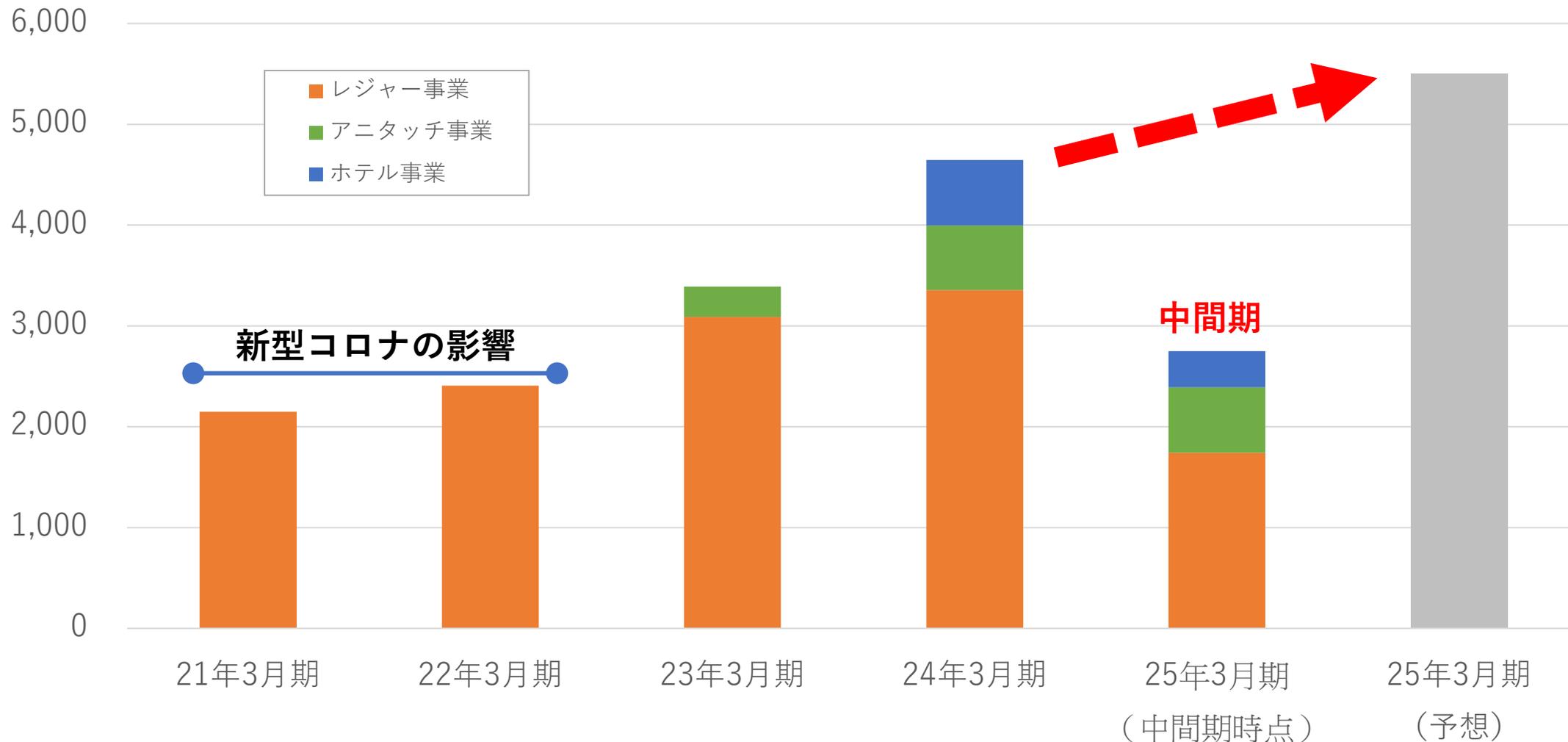
【ホテル事業】

- 8月の台風10号の記録的な大雨と「南海トラフ地震臨時情報」の影響で、繁忙期の宿泊予約キャンセルが相次ぎ、売上に大きな影響を及ぼしたものの、課題であった平日の稼働率改善が成功し、営業利益は昨年度を上回る結果となりました。

• 【売上高推移】

(2021年3月期～2025年3月期 (中間期)) * 25年3月期予想含む

単位：百万円



• 【セグメント利益推移】

(2021年3月期～2025年3月期 (中間期)) * 25年3月期予想含む

単位：百万円

1,250

1,000

750

500

250

0



新型コロナの影響

中間期

21年3月期

22年3月期

23年3月期

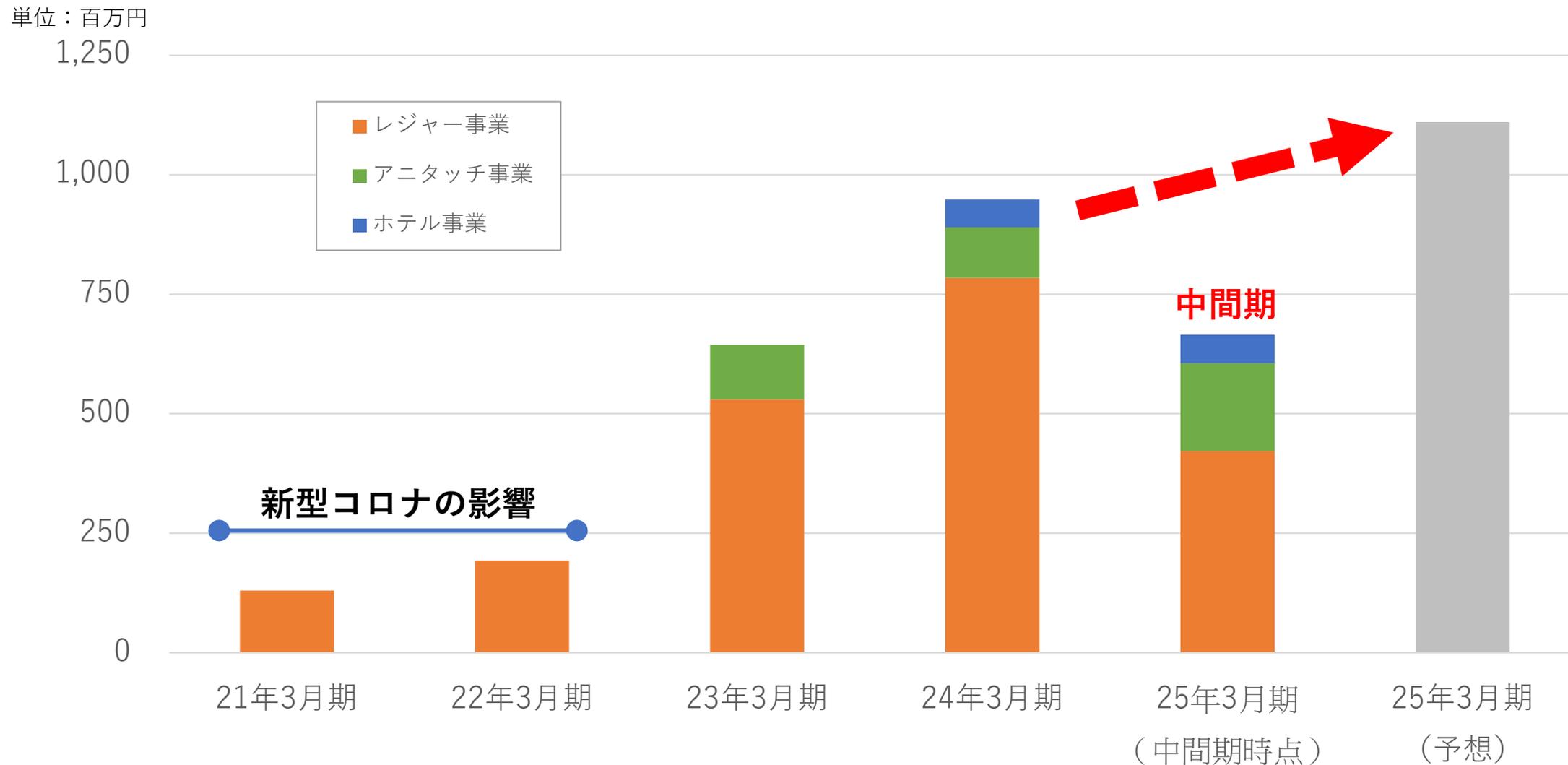
24年3月期

25年3月期

(中間期時点)

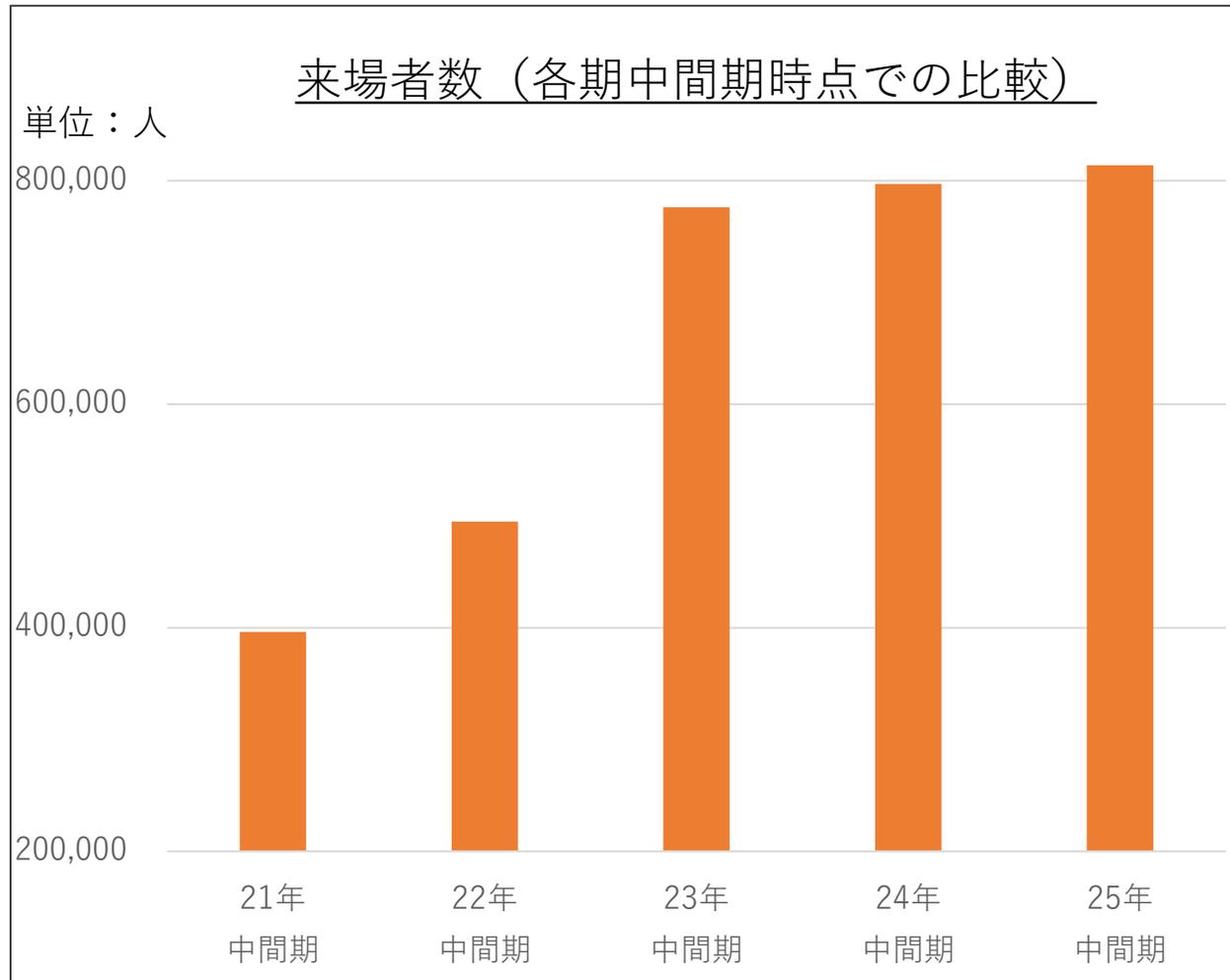
25年3月期

(予想)



【レジャー事業】

毎年恒例の「伊豆高原グランイルミ」は、オープン10周年を記念して、「日本初！体験型イルミネーション 伊豆高原グランイルミ ～10th Anniversary～」を24年11月9日（土）よりオープン。

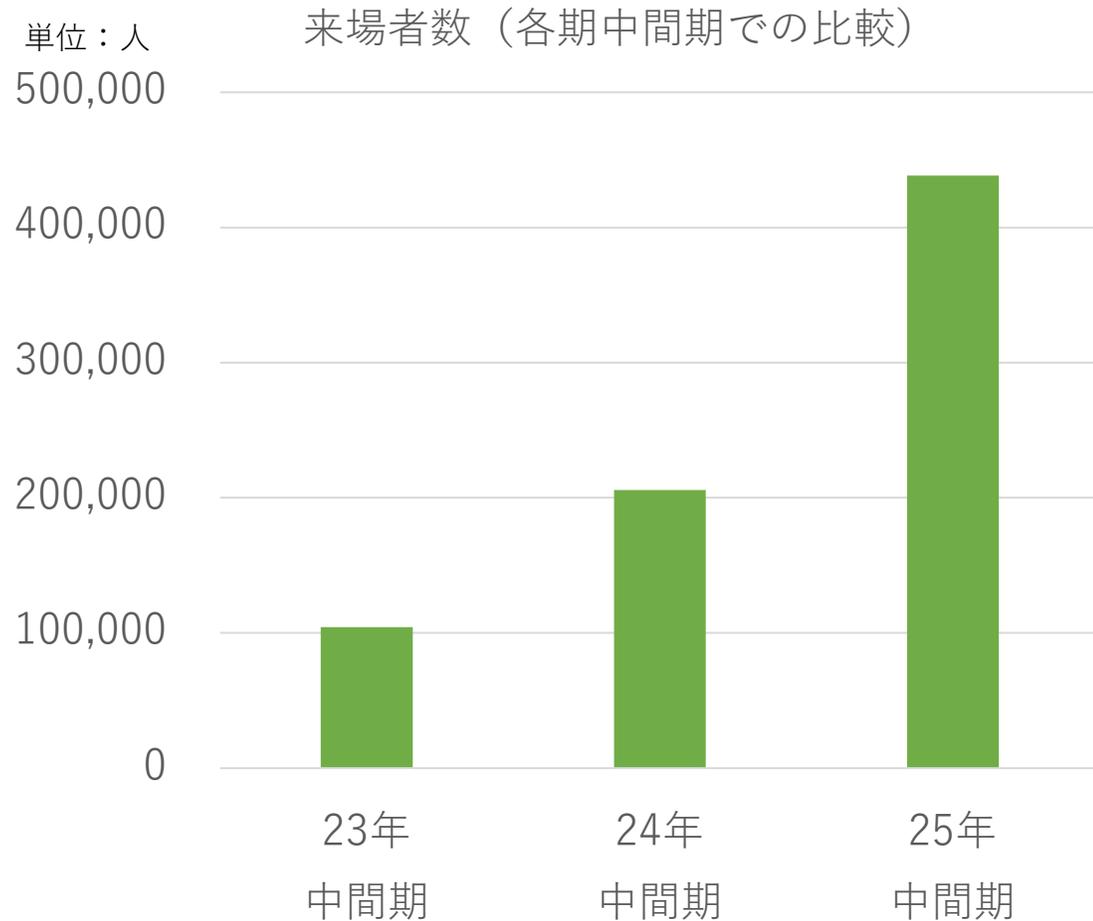


- 中間期で、来場者数が初めて80万人を突破（前年同期比16千人多い、813千人超）
- Walker+全国イルミネーションランキングにおいて、8年連続第1位を獲得
- 「第十回イルミネーションアワード」プロフェッショナルパフォーマンス部門、3年連続全国1位
- 今シーズンは、20時以降ラジオ波で音楽を聴きながら、パーソナルに光と音のコラボを楽しむ「ヘッドフォンショータイム」がスタート
- 12月中旬から、シャボン玉を使った演出がスタート。イルミネーションを反射して煌めく光景は圧巻

(HP) <https://granillumi.com/>

【アニタッチ事業】

各テレビ局が、毎月のように「アニタッチ」を特集で取上げ紹介。
放送を重ねるごとに来場者数が増加。



- 24年4月に、イオンモール太田店をオープン
- 24年7月に、東京ドームシティ店をオープン
- 来場者数は中間期43.8万人超と急成長（去年同期比213%超）
- テレビ放映（24年8月分）

「news every.」	日本テレビ
「ひるおび」	TBS
「ヒルナンデス！」	日本テレビ
「王様のブランチ」	TBS
「ニッポンこれさえランキング」	日本テレビ
- 21年10月に1店舗から始まった事業が、3年で累計来場者数100万人を達成

【ホテル事業】

事業開始から成長の2年目。
宿泊施設の特徴を活かした集客を
実現し、更に稼働率を向上。



• 1. コンセプトルームの多様性

各ホテルでは、恐竜や動物をテーマにしたコンセプトルームを提供。宿泊者に特別な体験を提供。

• 2. グランピング施設の充実

「伊豆シャボテンヴィレッジ グランピング」では、ドーム型テントやスクエアテントを備え、快適なアウトドア体験を提供。

• 3. 天然温泉の家族風呂

各ホテルには、天然温泉の貸切家族風呂を複数設置。アルカリ性単純温泉で、お肌の弱い方や小さなお子様でも安心して利用可能。

• 4. 動物公園へのアクセスの良さ

ホテルは伊豆シャボテン動物公園に隣接しており、専用ゲートを通じてスムーズに入園可能。

• 5. 家族連れへの配慮

「プチホテル 伊豆シャボテンヴィレッジ」は、2024年7月にすべてのお部屋をコンセプトルームにリニューアルオープン。家族連れに安心して宿泊できる施設を提供。

業績予想の修正のお知らせ

【連結業績予想】

- 中間期時点での売上高、営業利益、経常利益の全てにおいて、期初の予想を上回る結果となり、2025年3月期の連結業績予想を上方修正いたします。

	修正前（当初予想）	修正後
売上高	5,000	5,500
営業利益	1,010	1,150
経常利益	650	770

【銀行借入の繰上返済の実施】

- 株式会社伊豆シャボテン公園（当社子会社）は、24年9月末時点の借入783百万円に対し88百万円の繰上返済の実施を決定しました。さらに11月に292百万円の返済を予定しています。

免責事項

- 本資料に掲載されている情報には、業績予想・事業計画等の将来の見通しに関するものが含まれています。
- これらの情報については、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。当社としてその実現や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績はこれらの将来の見通しと異なる可能性があることにご留意ください。
- 本資料は当社の情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。当社の有価証券への投資判断は、ご自身の判断で行うよう、お願いいたします。